

松浦市文化財調査報告書 第13集

松浦市内遺跡確認調査(7)

2024

長崎県松浦市教育委員会

松浦市文化財調査報告書 第13集

松浦市内遺跡確認調査(7)



2024

長崎県松浦市教育委員会

発刊にあたって

本書は、令和3年度から令和5年度にかけて実施した、土地開発等に伴う松浦市内に所在する遺跡の確認・試掘調査の報告です。松浦市では本書で報告する陸上遺跡の調査以外にも、水中遺跡の調査を継続的に実施しています。鷹島海底遺跡では令和4年度にガバメントクラウドファンディングを用いた一石型木製椀の発掘、引き揚げ調査を行いました。この調査については、令和4年度に概報を刊行したところです。また、令和5年度には、鷹島2号沈没船の約50m沖合で船体とみられる構造物を確認するなど、大きな発見が相次いでいます。

水中遺跡、陸上遺跡を問わず、埋蔵文化財は国民共有の財産であり、郷土の成り立ちを理解する上で欠かせないものです。本書が市民の皆様をはじめ多くの方々に活用され、埋蔵文化財の普及・啓発の一助となれば幸いです。

最後になりましたが、関係者の方々のご理解とご協力により円滑に調査を進めることができましたことを心から感謝申し上げます。

令和6年3月31日

長崎県松浦市教育委員会

教育長 黒川政信

例 言

1. 本書は、令和3年度から令和5年度にかけて実施した松浦市内の遺跡の確認・試掘調査の報告である。
2. 調査は、国庫補助及び県費補助を受けて松浦市教育委員会文化財課が主体となって実施した。
3. 調査及び本報告書作成にあたっては、長崎県教育委員会学芸文化課をはじめ、多くの方にご指導ご協力を賜った。
4. 調査は、松浦市教育委員会文化財課早田晴樹があたった。
5. 図面の作成、製図は早田があたった。
6. 本書の執筆、編集、写真撮影は早田が行った。
7. 本書にかかわる出土遺物は、松浦市立埋蔵文化財センター（松浦市鷹島町神崎免 146番地）で収蔵・保管している。

凡 例

1. 本書に用いたレベル数値は絶対海拔高による。
2. 本書で用いている方位は磁北である。
3. 本書で使用する土層及び遺物の色調については、農林水産省農林水産技術会議事務局並びに財団法人日本色彩研究所監修の『新版標準土色帖』による。
4. 実測図等の縮尺は不統一である。縮尺はそれぞれの挿図内に提示してある。

本文目次

第Ⅰ章	はじめに	1～4
	1. 調査に至る経緯	1
	2. 調査の組織	3～4
第Ⅱ章	地理的・歴史的環境	5～7
	1. 地理的環境	5
	2. 歴史的環境	5～7
第Ⅲ章	令和4年度確認・試掘調査の概要	9～10
	1. 姫神社遺跡第6次調査	9～10

挿図目次

第1図	令和3年度から令和5年度 所収遺跡位置図（1/200,000）	1
第2図	松浦市内のおもな遺跡位置図 （1/150,000）	7
第3図	姫神社遺跡範囲及び調査箇所位置図 （1/10,000）	9
第4図	調査区位置図（1/600）	9
第5図	T1東壁土層断面図（1/40）	10
第6図	T2北壁土層断面図（1/40）	10

表目次

表1	令和3年度から令和5年度の法第93・94条関係届出等一覧表	2
表2	松浦市内のおもな遺跡一覧表	7

図版目次

図版1	姫神社遺跡6次調査箇所遠景	姫神社遺跡6次T1完掘状況（西側から）
	姫神社遺跡6次T1東壁土層断面	姫神社遺跡6次T2完掘状況（東側から）
	姫神社遺跡6次T2北壁土層断面	

第I章 はじめに

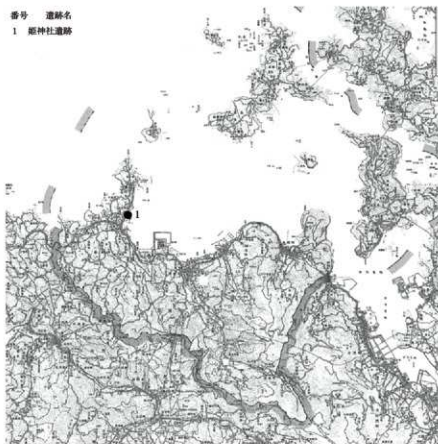
1. 調査に至る経緯（第1図 表1）

松浦市における埋蔵文化財保護行政は長崎県教育委員会の指導のもと、文化財保護法に基づき立会調査や確認調査などを実施している。

令和3年度の法第93条・94条関係届出等の件数は8件で、いずれも確認調査は実施していない。

令和4年度の法第93条・94条関係届出等の件数は25件で、このうち補助事業関係で実施した確認調査は、姫神社遺跡の1件のみで、ほか、工事立会が4遺跡6件である。

令和5年度の法第93条・94条関係届出等の件数は12件で、いずれも確認調査は実施していないが、工事立会が2遺跡3件、嚴重注意が1件である。



第1図 令和3年度から令和5年度 所収遺跡位置図（1/200,000）

年度	道跡名	届出地	事業内容	事業主	処置	
3	寺ノ尾C道跡	御厨町横久保免	電柱及び支線新設	九州電力送配電株式会社平戸配電事業所	慎重工事	
	下田道跡	星鹿町	携帯電話無線基地局新設工事	楽天モバイル株式会社	慎重工事	
	久保園道跡	志佐町高野免1191ほか	杭設置	松浦市	慎重工事	
	宮ノ下道跡	志佐町高野免1080ほか	杭設置	松浦市	慎重工事	
	刈萱城跡(隣接地)	星鹿町岳崎免2108ほか	地すべり対策工事	長崎県県北振興局	慎重工事	
	刈萱城跡(隣接地)	星鹿町岳崎免2048-1ほか	地すべり対策工事	長崎県県北振興局	慎重工事	
	辻ノ尾道跡	志佐町浦免738-1	松浦高校グラウンド改修工事	長崎県	慎重工事	
	大石A道跡	星鹿町岳崎免1104-2ほか	電柱及び支線新設	九州電力送配電株式会社平戸配電事業所	慎重工事	
	4	刈萱城跡(隣接地)	星鹿町岳崎免2108ほか	地すべり対策工事	長崎県県北振興局	慎重工事
		刈萱城跡(隣接地)	星鹿町岳崎免2048-1ほか	地すべり対策工事	長崎県県北振興局	慎重工事
船神社道跡		星鹿町北久保免520	個人住宅建設	個人	確認調査	
津崎鼻道跡		星鹿町岳崎免928	太陽光発電設備設置工事	株式会社ビズグリーン	工事立会	
津崎鼻道跡		星鹿町岳崎免925ほか	太陽光発電設備設置工事	株式会社ビズグリーン	工事立会	
青島道跡		星鹿町青島免1422ほか	電線路新設工事	九州電力送配電株式会社平戸配電事業所	慎重工事	
栢ノ木道跡		志佐町栢木免109-1	支線新設工事	九州電力送配電株式会社平戸配電事業所	慎重工事	
白土道跡		福島町陸免1186-1	携帯電話無線基地局新設工事	楽天モバイル株式会社	工事立会	
水尻A道跡		御厨町大崎免32-2ほか	杭設置	松浦市	慎重工事	
水尻B道跡		御厨町大崎免556-1ほか	杭設置	松浦市	慎重工事	
蔵川道跡		御厨町大崎免802ほか	杭設置	松浦市	慎重工事	
小嶋古墳群		御厨町大崎免908ほか	杭設置	松浦市	慎重工事	
小嶋道跡		御厨町大崎免908ほか	杭設置	松浦市	慎重工事	
寺ノ尾B道跡		御厨町上登木免407-1	宅地造成及び新築工事	株式会社電計社	慎重工事	
栢ノ木道跡		志佐町池成免1701付近	市道舗装補修工事	松浦市	工事立会	
栢ノ木道跡		志佐町池成免1701付近	配水管改良工事	松浦市	工事立会	
刈萱城跡(隣接地)		星鹿町岳崎免2048-1	地すべり対策工事	長崎県県北振興局	慎重工事	
坂本道跡		御厨町里免328-2ほか	個人住宅建設	個人	慎重工事	
久保園道跡		志佐町里免200-5ほか	法面削削及び保護工事	株式会社グッド・ハウス	工事立会	
柳原池道跡		志佐町柳本場免5571ほか	溜め池調査ボーリング	長崎県県北振興局	慎重工事	
菟籠池道跡		今福町木場免14351ほか	溜め池調査ボーリング	長崎県県北振興局	慎重工事	
刈萱城跡(隣接地)		星鹿町岳崎免21731ほか	地すべり対策工事	長崎県県北振興局	慎重工事	
深田代池道跡		今福町寺上免130地先	配水管接続工事	個人	慎重工事	
久保園道跡		志佐町里免249-1ほか	個人住宅建設	個人	慎重工事	
深田代池道跡		今福町寺上免130-2	個人住宅建設	個人	慎重工事	
5		津崎鼻道跡	星鹿町岳崎免928	太陽光発電設備設置工事	株式会社ビズグリーン	工事立会
		津崎鼻道跡	星鹿町岳崎免925-1	太陽光発電設備設置工事	株式会社ビズグリーン	工事立会
	三代道跡	鷹島町中逢免808-1	無線送受信設備設置工事	株式会社JTOWER	工事立会	
	坂本道跡	御厨町里免20-1	個人住宅建設	個人	慎重工事	
	坂本道跡	御厨町里免1311ほか	杭設置	松浦市	慎重工事	
	久保園道跡	志佐町里免200-5ほか	法面削削及び保護工事	株式会社グッド・ハウス	厳重注意	
	モウゲ池道跡	志佐町池成免101付近	堤体調査ボーリング	長崎県県北振興局	慎重工事	
	遠泉岩除道跡	鷹島町阿島浦免985-22	電柱新設工事	九州電力送配電株式会社唐津配電事業所	慎重工事	
	栢ノ木道跡	志佐町栢木免109-1	支線新設工事	九州電力送配電株式会社平戸配電事業所	慎重工事	
	坂本道跡	御厨町里免328-2	個人住宅建設	個人	慎重工事	
	板橋埦目道跡	御厨町板橋免5001ほか	工事用道路整備工事	国土交通省九州地方整備局	慎重工事	
	古池道跡	鷹島町三里免498-1	コンテナハウス設置	個人	慎重工事	

表1 令和3年度から令和5年度の法第93・94条関係届出等一覧表

2. 調査の組織（敬省略）

令和3年度

調 査 主 体	松浦市教育委員会事務局
教 育 長	今西 誠司
教 育 次 長	松本 政美
	小熊 盛

文 化 財 課	課 長	内野 義
	課長補佐	坂本 秀樹
	係 長	梶川 誠基
	学 芸 員	早田 晴樹
	学 芸 員	安木 由美
	主 事 補	岡田 みなみ

令和4年度

調 査 主 体	松浦市教育委員会事務局
教 育 長	黒川 政信
教 育 次 長	松本 政美
	小熊 盛

文 化 財 課	課 長	内野 義
	課長補佐	山口 哲広
	係 長	梶川 誠基
	学 芸 員	早田 晴樹
	学 芸 員	安木 由美
	主 事 補	岡田 みなみ

令和5年度

調 査 主 体	松浦市教育委員会事務局
教 育 長	黒川 政信
教 育 次 長	松本 政美
	土谷 由子

文 化 財 課	課 長	内野 義
	課長補佐	山口 哲広
	係 長	久保 綾乃
	学 芸 員	早田 晴樹
	学 芸 員	安木 由美
	主 事 補	岡田 みなみ

調 査 参 加 者 石部俊和・岩永茂人・柿原眞次・山口貴光

調 査 協 力 者 株式会社小川工務店・中野広一

第Ⅱ章 地理的・歴史的環境

1. 地理的環境

松浦市は長崎県本土北端に位置する北松浦半島の本土部と、その沖に浮かぶ福島・鷹島・黒島・青島・飛島などの島々から構成される。平成18年1月1日に旧松浦市・北松浦郡福島町・北松浦郡鷹島町が合併し誕生した市である。

北松浦半島の本土部は南に石盛山や高法知岳、白岳などの山脈が迫っており、北に閉鎖性の高い内湾である伊万里湾が存在する。その伊万里湾に前述の福島・鷹島などの島々は浮かんでいる。これら島々は河川に乏しいものの、市本土部には志佐川、今福川などの河川が流れており、いずれも北流し伊万里湾に注いでいる。平地は河川の下流域に僅かに発達するのみである。また、上述の高法知岳、白岳などの山脈が市境となっており、国見山を最高峰とする国見山系が佐賀県との県境となっている。松浦市の西は長崎県平戸市と、南は長崎県佐世保市と接し、東は佐賀県伊万里市及び唐津市と接している。なお、福島及び鷹島には橋が架かっており、それぞれ佐賀県の伊万里市、唐津市と陸路で往来が可能である。

地質は溶岩台地・新第三紀層・沖積層・洪積層と大きく4つに分類される。市域は新第三紀層を基盤とし、その上に北松浦玄武岩類と呼ばれる玄武岩の溶岩台地が広がっている。新第三紀層（佐世保層群）は砂岩や泥岩の互層からなっており、多くの薄炭層と凝灰岩を間に挟んでいる。この佐世保層群は厚いところでは層厚1,200mにも及ぶ。北松浦半島一帯は北松炭田として昭和30（1950）年代に栄えたが、炭田はこの薄炭層を利用していった。この薄炭層を含む新第三紀層と砂礫層は互層からなっており、この地域一帯は上位の玄武岩と作用して起こる「北松型地すべり」と呼ばれる地すべりの多発地帯となっている。沖積層は志佐川流域に発達するが、今福川流域においても確認できる。洪積層（段丘）は志佐川流域において確認される。一方、福島、鷹島などの島々は新第三紀層と玄武岩に分類されている。

2. 歴史的環境

ここでは市内に分布する主な遺跡について時代ごとに述べることにする。

本市において最も古い人類の活動の痕跡は旧石器時代まで遡る。市域西部に位置する黒鹿半島は黒曜石の原産地であり、隣接する佐賀県伊万里市には九州を代表する黒曜石原産地である腰岳が存在している。石材入手が容易であるため、北松地域一帯には多くの旧石器時代、縄文時代の遺跡が存在している。松浦市内において旧石器時代の遺跡数は46カ所確認されており、市内では特に黒曜石原産地である黒鹿半島の台地上に遺跡が集中して見られる。また、市域西部御厨町に位置する田口高野遺跡ではA T火山灰が確認され、台形石器やナイフ形石器が出土している。

縄文時代では94カ所の遺跡が確認されている。前述の田口高野遺跡では鬼界アカホヤ火山灰も確認されている。田口高野遺跡にほど近い下谷遺跡では21基のドングリ貯蔵穴や土坑が確認され

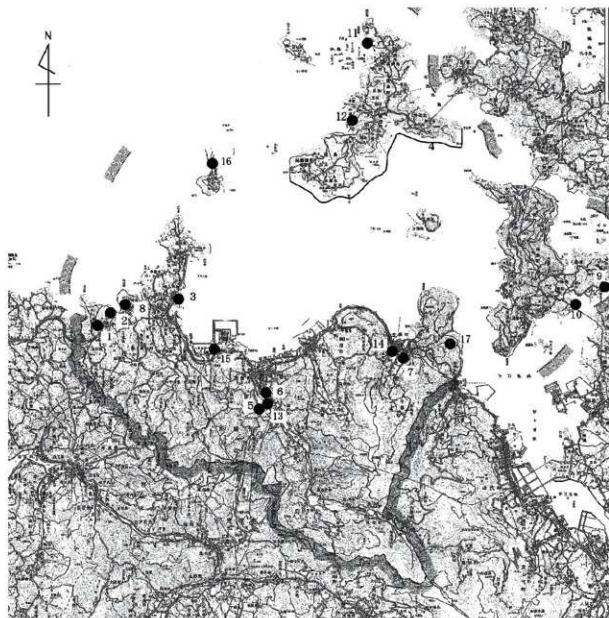
ており、鈴桶型刃器技法により産出された腰岳産黒曜石製品が多数確認されている。星鹿半島東岸に位置する姫神社遺跡は昭和41年に日米合同調査が行われており、前期の壘式土器・曾畑式土器や石鏃・石槍・石斧・石匙などが報告されている。また、鷹島海底遺跡では水深約25mの深さから早期前葉の押型土器が確認されており、縄文時代における海水位の変化あるいは陸地の沈降現象について注目される。

弥生時代以降になると、これまでの旧石器・縄文時代に比べ確認できる遺跡は限られる。弥生時代の遺跡としては、志佐川流域の柗ノ木遺跡において前期後半頃の甕棺墓と石棺墓の墓域が形成されている。石棺墓からは副葬品として内行花文鏡やガラス小玉などが出土している。また、志佐川を挟んで対岸には久保園遺跡があり、中期の甕棺墓が確認されている。市域東部に位置する今福川流域の中ノ瀬遺跡では中期の竪穴建物跡が確認されている。今福川を望む丘陵上に集落が営まれていたものと思われる。

古墳時代になると、市本土部に小嶋古墳群、福島に横島古墳や小島古墳、鷹島に薫崎塚古墳、宝ヶ峯1号～3号墳が築造される。このうち、発掘調査が実施されたのは小嶋1号墳、宝ヶ峯古墳群のみである。いずれも円墳であり、横穴式石室が用いられている。後期から終末期に位置付けられる。他に宮ノ下り遺跡では4世紀後半から5世紀代の竪穴建物跡、柗ノ木遺跡では6世紀後半、今福遺跡では4世紀初頭及び6世紀後半の土師器や須恵器が出土している。

古代については明確な遺構が確認されていないため判然としなが、宮ノ下り遺跡、久保園遺跡、今福遺跡より緑釉陶器碗や越州窯系青磁碗が出土している。

中世になると、楼厩田遺跡において12世紀ごろの墓壇や掘立柱建物跡が、中ノ瀬遺跡では木棺墓や土壇墓が確認されている。また今福川を挟んで対岸に位置する今福遺跡では11世紀後半から14世紀中ごろの土師器や貿易陶磁器などが、星鹿半島の先端より1.2km沖合の青島に所在する一町田遺跡では、11世紀後半から12世紀後半にかけての貿易陶磁器が出土している。山城跡としては、県史跡である松浦党梶谷城跡などがある。遺物は15世紀後半から17世紀前半の陶磁器類が確認されている。鷹島海底遺跡は鷹島南岸に位置している。日本史上重要な事件である蒙古襲来に係る古戦場跡である。これまで40年にわたる水中考古学手法による発掘調査が行われており、『蒙古襲来絵詞』に描かれる「てつほう」や刀剣、矢束、鉄製冑などの武器・武具類、褐釉陶器や青磁碗などの陶磁器類、礎石や船体の一部と考えられる木材などが出土している。平成23年には琉球大学の研究チームが水深20～25mの地点で「1号沈没船」を、平成27年には水深15mの地点で「2号沈没船」を確認している。これらの成果を受け、従来、文献・絵画によってしか知られなかった蒙古襲来の様相を具体的に明らかにしたとして、平成24年3月27日に鷹島海底遺跡内の384,073.61㎡が鷹島神崎遺跡として、海底遺跡では国内初となる国史跡に指定されている。平成26年3月には『国指定史跡鷹島神崎遺跡保存管理計画書』を策定している。



第2図 松浦市内のおもな遺跡位置図（1/150,000）

番号	遺跡名	時代	種別	立地	所在地
1	田口高野遺跡	旧石器・縄文	遺物包含地	台地	御厨町西田免
2	下谷遺跡	縄文時代	遺物包含地	台地	御厨町西木場免
3	船押辻遺跡	縄文時代	遺物包含地	平地	星野町北久保免
4	鷹島海底遺跡	縄文・中世	遺物包含地	海底	鷹島町南岸地先水面
5	粕ノ木遺跡	縄文・弥生・中世	遺物包含地・墳墓	台地	志佐町粕木免
6	久保園遺跡	縄文・弥生・古墳	遺物包含地	平野	志佐町里免・高野免
7	中ノ瀬遺跡	縄文・弥生・中世	遺物包含地	平野	今福町浦免
8	小嶋古墳群	古墳時代	古墳	平野	御厨町大崎免
9	横島古墳	古墳時代	古墳	台地	福島町喜内瀬免
10	小島古墳	古墳時代	古墳	岬	福島町端免
11	煮崎鬼塚古墳	古墳時代	古墳	台地	鷹島町阿翁浦免
12	宝ヶ峯古墳群	古墳時代	古墳	台地	鷹島町中通免
13	宮ノ下り遺跡	縄文・古墳・中世	集落・墳墓	平野	志佐町高野免
14	今福遺跡	縄文・弥生・古墳	遺物包含地	平野	今福町仏坂免
15	榎階田遺跡	縄文・弥生・中世	遺物包含地	丘陵	志佐町白浜免
16	一町田遺跡	縄文・弥生・中世	遺物包含地	砂丘	星野町青島免
17	松浦堂窪谷城跡	中世	城館跡	丘陵	今福町東免

表2 松浦市内のおもな遺跡一覧表（番号は地図中の数字に対応）

第三章 令和4年度確認・試掘調査の概要

令和3年度および令和5年度については、93条・94条届出に伴う確認調査は実施していない。そのため、ここでは令和4年度に確認調査を実施した姫神社遺跡について概説する。

1. 姫神社遺跡第6次調査（第3図～第6図）

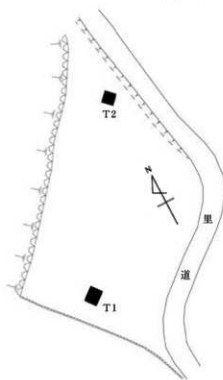
立地 姫神社遺跡は、松浦市西部の星鹿半島東岸に位置している。遺跡は半島の付け根、御厨港に面しており、北から突き出た岬の西側が包蔵地の範囲として周知されている（第3図）。姫神社遺跡の名のとおり、包蔵地内には姫神社が鎮座しており、遺跡の中心部は神社境内に存在する。昭和41年には日米共同調査が実施され、多量の遺物が出土している。出土遺物には縄文土器、塞ノ神式土器、曾畑式土器や石斧、石匙、石鏃、石鎌などが報告されている。



第3図 姫神社遺跡範囲及び調査箇所位置図
(1/10,000)

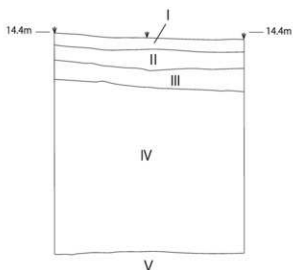
調査 昭和41年の日米共同調査以降、市教育委員会により、平成4年、平成8年、平成10年、平成24年と計5度にわたり調査が実施されている。

今回の調査は4月12日付けにて個人住宅建設に伴う埋蔵文化財発掘の届出を受け、5月19日から5月25日にかけて実施した。工事予定地内に任意で2m×2mの調査区を2箇所設定し（第4図）、人力による掘り下げを行った。調査面積は計8㎡である。



第4図 調査区位置図 (1/600)

検出遺構 両調査区とも遺構及び遺物包含層は確認できなかった。T1は表土直下に玄武岩の風下層が厚く堆積していた。T2はT1に比べ、堆積が浅く、下層に玄武岩の岩盤を確認した。



第5図 T1東壁土層断面図(1/40)

土層説明

- I : 表土。現代の耕作土。10YR 3/4 暗褐色土。
- II : 7.5YR 3/4 暗褐色土。玄武岩の小礫を含む。
- III : 7.5YR 3/4 暗褐色土。II層と違い、玄武岩礫を含まない。
- IV : 7.5YR 4/4 褐色土。拳大～人頭大の玄武岩礫を含む。
- V : 地山。7.5YR 4/6 褐色土。



第6図 T2北壁土層断面図(1/40)

土層説明

- I : 表土。現代の耕作土。10YR 3/4 暗褐色土。
- II : 10YR 4/6 褐色土。玄武岩の小礫を含む。
- III : 7.5YR 4/6 褐色土。拳大の玄武岩礫を含む。

出土遺物 T2からは遺物は出土していない。T1出土遺物はおもに表土から黒曜石剥片、近代の陶磁器類が出土している。また、表土中に1点、鉄滓が出土した。いずれも小片ばかりであり、今回図示はしていない。

图 版

図版 1



姫神社遺跡 6 次調査箇所遠景



姫神社遺跡 6 次 T 1 完掘状況（西側から）



姫神社遺跡 6 次 T 1 東壁土層断面



姫神社遺跡 6 次 T 2 完掘状況（東側から）



姫神社遺跡 6 次 T 2 北壁土層断面

報告書抄録

ふりがな	まつうらしないいせきかくにんちょうさ(7)							
書名	松浦市内遺跡確認調査(7)							
副書名								
巻次								
シリーズ名	松浦市文化財調査報告書							
シリーズ番号	第13集							
編集者名	早田晴樹							
編集機関	松浦市教育委員会							
所在地	〒859-4598 長崎県松浦市志佐町里免365番地 TEL 0956-72-1111							
	E-mail bunkazai@city.matsuura.lg.jp							
発行年月日	西暦 2024年3月31日							
ふりがな 所収遺跡名	所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積 ㎡	調査原因
		市町村	遺跡番号	°′″	°′″			
DのC.C.Cのいせき C 姫神社遺跡6次	星鹿町北久保免520	42208	042	33° 22′ 14.7″	129° 40′ 20.8″	20220519～ 20220525		個人住宅建設
	種別	主な時代		主な遺構		主な遺物	特記事項	
	遺物包含地	縄文		なし		黒曜石剥片	—	

松浦市文化財調査報告書 第13集

松浦市内遺跡確認調査（7）

令和6年3月31日

発行 長崎県松浦市教育委員会
長崎県松浦市志佐町里免365番地

印刷 有限会社 タイセイ印刷
長崎県松浦市志佐町浦免886番地7